



中村キース・ヘリング美術館 Nakamura Keith Haring Collection

Contents

中村キース・ヘリング美術館のめざすもの	3
中村キース・ヘリング美術館について	4
キース・ヘリングについて	6
コレクション	8
建築・展示室	9
教育普及・社会貢献活動	12
ごあいさつ	15

中村キース・ヘリング美術館は、自然豊かな八ヶ岳南麓の小淵沢に2007年にキース・ヘリングの作品を紹介する世界で唯一の美術館として、約500点のコレクションによる展覧会を中心に、HIV・エイズの予防啓発、LGBTQ+コミュニティの可視化、子どもの健やかで自由な成長、環境問題についての展示やイベントの実施など絶え間なく社会に対してアクションを行ってきました。

当美術館は、キース・ヘリングの作品と遺志を引き継ぎ、現在的な社会問題を提起し続けるインクルーシブな新時代の美術館を目指して活動しています。

中村キース・ヘリング美術館のめざすもの

わずか31年という短い生涯にすべてを表現し、希望と夢を残していった80年アメリカを代表するアーティスト、キース・ヘリング。

中村キース・ヘリング美術館は、館長中村和男が蒐集したキース・ヘリングコレクションを公開するだけでなく、アートを通して社会に問題提起を行い続けたアーティスト、キース・ヘリングの作品と遺志を引き継いだ活動を行うことを目標にしています。

八ヶ岳の美しい自然の中で静かにヘリングの作品と向き合い、そのエネルギーを感じるとともに、現代を生きる私たちにとってリアルな課題であるHIV・エイズや感染症のこと、SDGsやLGBTQ+コミュニティに関すること、平等と平和についてなどについてともに考えられる美術館を目指します。

私たちは、それを現代的な社会問題を提起し続けるインクルーシブな新時代の美術館と呼んでいます。



中村キース・ヘリング美術館について

2007年4月、当館はニューヨークを拠点に活躍したアーティスト、キース・ヘリングを紹介する世界で唯一の美術館として、八ヶ岳の麓に位置する小淵沢に開館しました。コレクターであり館長を務める中村和男によって蒐集されたおよそ300点の作品のほか、記録写真や映像、生前に制作されたグッズなど500点以上の資料を収蔵。

国際的建築家である北川原温により設計された建築は傾斜した地形に沿って闇から希望へというテーマのもとにキース・ヘリングの作品をを体感できる場であり、毎年異なるテーマによるコレクション展や現代を代表するアーティストを迎えての企画展などを開催し国内外から多くの来館者を迎えています。

さらに、当館はコレクションを公開する場としてだけでなく、アートを通して社会に問題提起を行い続けたアーティスト、キース・ヘリングの作品と遺志を引き継いだ活動を行うことを目標に、国際児童絵画コンクールの開催やHIV・エイズや感染症、SDGsやLGBTQ+コミュニティに関すること、平等と平和、環境問題についての啓発活動を、展示やイベント、SNSを活用したオンラインでの発信などさまざまな形で行い続けています。



沿革

2007 開館。「キーフォレスト 871226 キース・ヘリングの世界—混沌から希望へ—」展開催
以降毎年コレクション展を開催

- 2009 第1回中村キース・ヘリング美術館児童絵画コンクール開催
北杜市より善行表彰を授与
- 2012 開館5周年を記念し、キュレーターズ・セレクションを開始
- 2015 リニューアルオープン。自由の展示室、中庭、バックヤードを増築
- 2017 開館10周年記念展「キース・ヘリングと日本:Pop to Neo-Japonism」開催
- 2021 公式Youtubeチャンネル開設
- 2022 「中村キース・ヘリング美術館開館 15 周年記念展:混沌と希望」展開催

利用案内

〒408-0044山梨県北杜市小淵沢町10249-7
0551-36-8712（一般非公開）
museum@keith.jp
<https://www.nakamura-haring.com/>

展覧会会期中無休

9:00～17:00（最終入館16:30）

※展示替え休館、冬季メンテナンス休館あり

※展覧会会期情報は公式HP「EXHIBITION」にて
随時公開

<https://www.nakamura-haring.com/exhibition/>

一般 1,500円、障がい者 600円、16歳以上の学生 600円、小人（15歳以下）無料

※学生、障がい者料金の適用には身分証明書のご提示が必要

20名以上の団体でのご来館はメールまたは電話での予約必要

車椅子貸し出しあり、介助犬の入館可

アクセス

美術館は東京からアクセスのよい高原リゾートとして有名な八ヶ岳南麓地域に位置しています。夏は涼やかな高原の空気、冬は冠雪の南アルプス・八ヶ岳の雄大な景色と共に作品鑑賞をお楽しみいただけます。

中央自動車道「小淵沢」I.C.から約6分

JR小淵沢（こぶちざわ）駅下車、駅から当館までタクシーで約8分

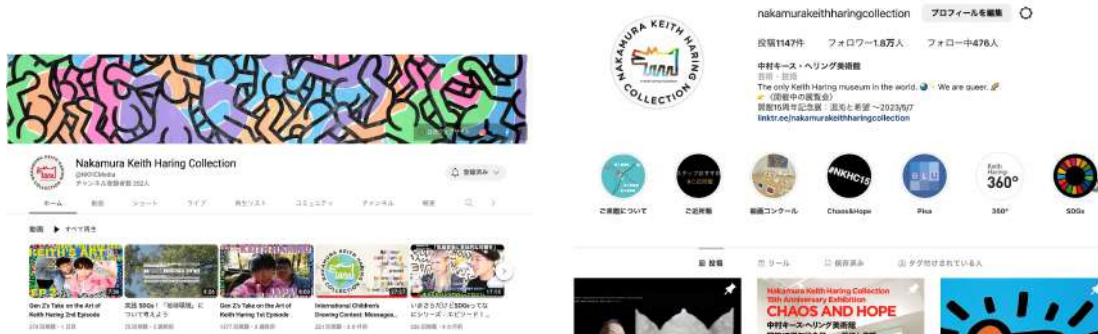
中央道小淵沢バス停下車、バス停から当館までタクシーで約5分、徒歩約30分

<https://onl.la/t9ZbS8m>



ウェブサイトへのアクセス

中村キース・ヘリング美術館は以下のプラットフォームを開設し、随時最新情報の発信を行っているほか、Web上での映像・写真のコンテンツの配信、SNSを利用したライブイベントなどを開催し、積極的に世界に向けた美術館のコンテンツの公開と社会問題の啓発活動を行っています。



公式HP（日） <https://www.nakamura-haring.com/>

公式HP（EN） <https://www.nakamura-haring.com/en/>

Instagram <https://www.instagram.com/nakamurakeithharingcollection/>

Youtube <https://www.youtube.com/@NKHCmedia>

Twitter https://twitter.com/nakamura_haring

Facebook <https://www.facebook.com/nakamuraharing>

TikTok <https://www.tiktok.com/@nkhcmedia>



公式HP



リンクツリー

キース・ヘリングについて

米国ペンシルバニア州出身。1958年–1990年

キース・ヘリングは、アンディ・ウォーホルやジャン＝ミシェル・バスキアなどと同様に、1980年代のアメリカ美術を代表するアーティストです。

80年代初頭にニューヨークの地下鉄で黒い紙が貼られた使用されていない広告板を使った通称「サブウェイ・ドローイング」と呼ばれる作品を制作し、地下鉄の通勤客の間で評判となることで一躍アートシーンの中心人物となりました。

1980年から86年の間には次々と展覧会が開催され、国際的にも高く評価されます。ニューヨークのタイムズスクエアのビルボードのアニメーションから、舞台デザイン、自身がデザインしたグッズを販売する「ポップショップ」をオープンするなど、その活動は多岐に及びました。世界中で壁画を制作したり、ワークショップも開催し、社会的なプロジェクトも数多く手がけ、日本では展覧会やワークショップの開催、ポップショップも展開されました。1988年にはエイズを発症し、その翌年に財団を設立。1990年に31歳で亡くなるまで、アートを通してHIV・エイズ予防啓発運動にも最後まで積極的に関わりました。

- 1958 5月4日 米国ペンシルバニア州にて出生。
- 1978 ニューヨークのスクール・オブ・ビジュアル・アーツ (SVA) に入学。
- 1980 ニューヨーク市地下鉄構内の広告板にチョークで描く「サブウェイ・ドローイング」を開始。
- 1982 トニー・シャフラジ画廊にてデビュー。ドイツの国際美術展ドクメンタ7に参加。
- 1983 初来日。ホイットニー・バイエニアルに出展。
- 1984 ヴェネチア・ビエンナーレに出展。オーストラリア、ブラジルなど世界各地で壁画制作を開始。パラダイス・ガラージにて個展を開催。
- 1985 パリ・ビエンナーレに出展。レオ・キャストリ画廊にて個展を開催。
- 1986 ソーホーに「ポップショップ」を開店。
- 1987 ニューヨーク「アート・アゲインスト・エイズ」に出展。多摩市の複合文化施設パルテノン多摩にて約500人の子供達と壁画を制作。
- 1988 青山に「ポップショップ東京」を開店。エイズを発症。
- 1989 キース・ヘリング財団を設立。
- 1990 2月16日 グリニッジ・ビレッジのアパートで死去。31歳。5月4日ニューヨークのセント・ジョン・ザ・ディヴァイン大聖堂にて追悼式。



Photo by Makoto Murata



Photo by Akira Kishida

コレクション

コレクターであり館長を務める中村和男は、1987年にニューヨークで一点の作品に出会ったことを機にヘリング作品の蒐集を始めました。現在、当館ではおよそ300点の作品のほか、記録写真や映像、生前に制作されたグッズなどおよそ500点以上の資料を収蔵しています。当館のキース・ヘリングコレクションはキース・ヘリングの多様な制作活動を伝えるため開館後も作品の蒐集を行っています。

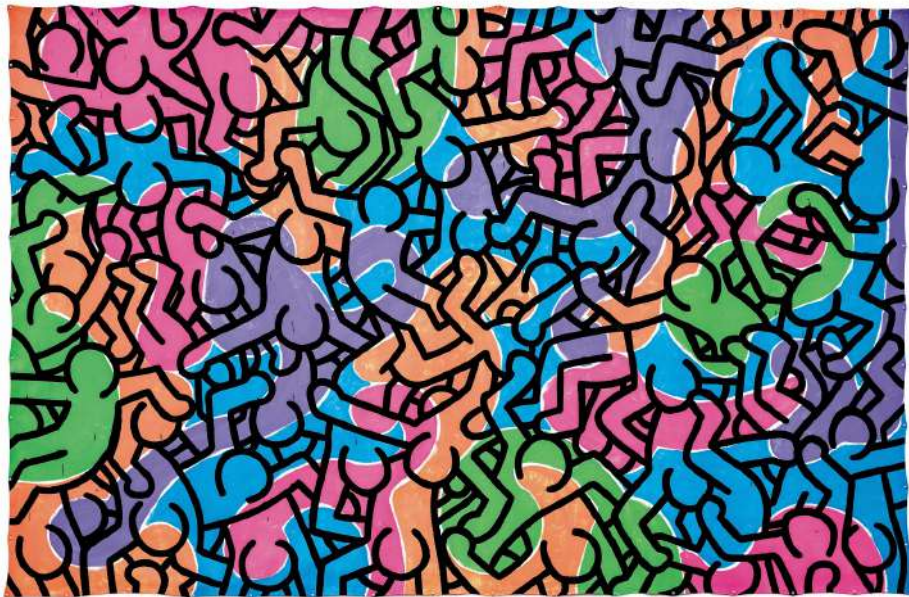
2017年にはスタイリストであるパトリア・フィールドのコレクションである「パトリア・フィールド・アートコレクション」を収蔵したほか、新進アーティストの展覧会開催・作品蒐集を行っています。

過去・現在の展示は以下HP内リンク「EXHIBITION」をご参照ください。
<https://www.nakamura-haring.com/exhibition/>

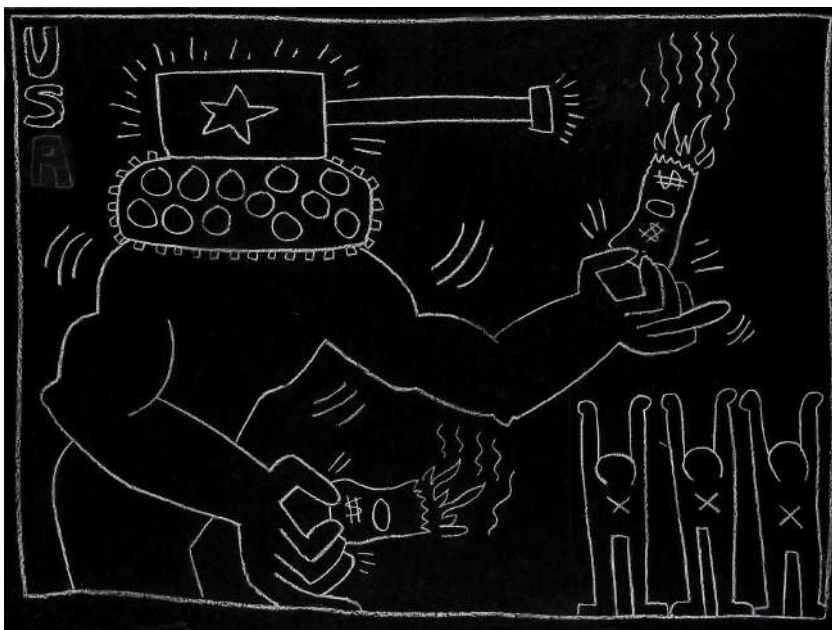


キース・ヘリングコレクション

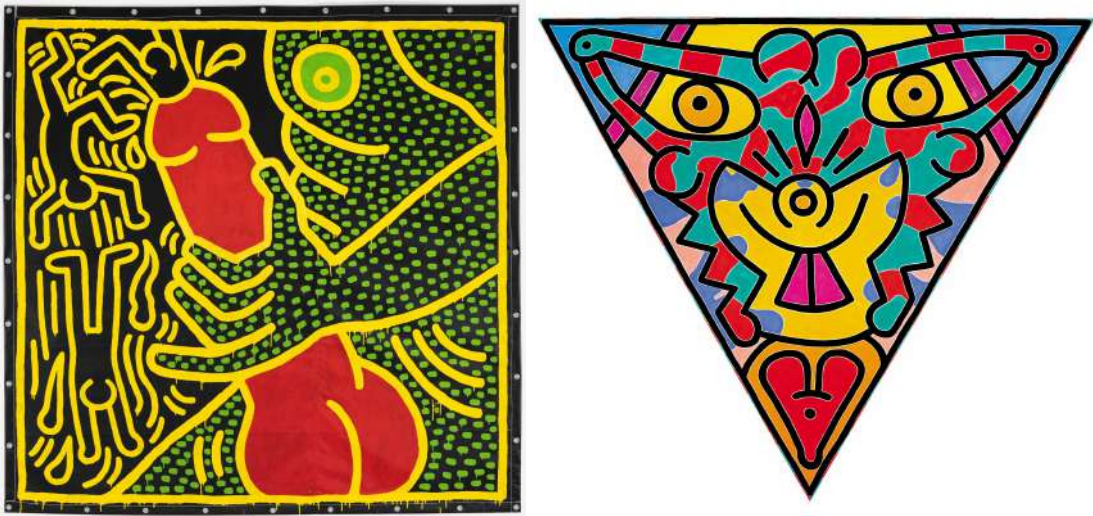
絵画・版画



《無題》 *untitled*, 1985



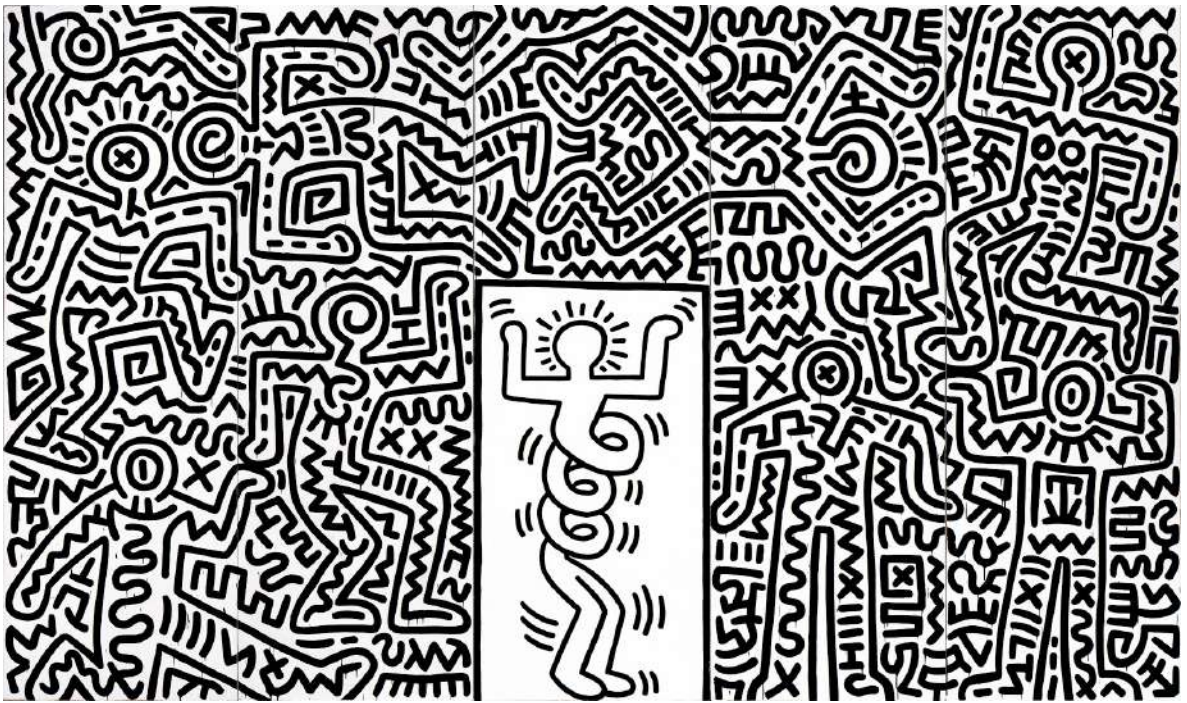
《無題（サブウェイ・ドローイング）》 *Untitled (Subway Drawing)*, 1985



(左) 《無題》 *untitled*, 1984 (右) 《無題》 *untitled*, 1988



《アイコンズ》 *Icons*, 1990



《『スウィート・サタデー・ナイト』のための舞台セット》
Set for *Sweet Saturday Night*, 1985



(左) 《無題》 *untitled*, 1983 (右) 《アンディ・マウス》 *Andy Mouse*, 1986

彫刻・立体作品



(左) 《無題（腹に頭）》 *untitled*, 1987-1988

(右) 《無題（犬の上でバランスをとる人）》 *untitled*, 1989



《オルターピース：キリストの生涯》 *Altarpiece: The Life of Christ*, 1990

ポスター



(左) 《ヒロシマ 平和がいに決まってる!!》 Hiroshima,1988

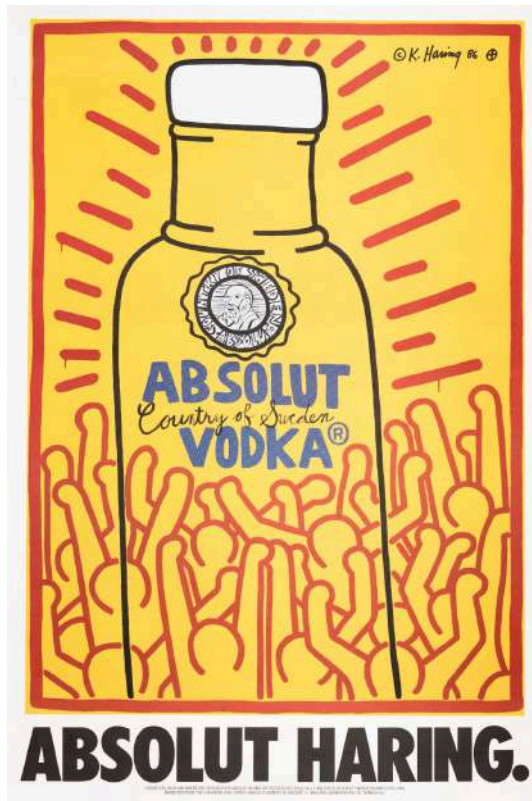
(中) 《ナショナル・カミングアウト・デー》 National Coming Out Day ,1988

(右) 《ポップショップ》 Pop Shop,1986



(左) 《偏見は恐怖。沈黙は死》 Ignorance=Fear. Silence=Death ,1989

(右) 《シティ・キッズ 自由について86》 City Kids Speak on Liberty 86 ,1986



(左) 《キース・ヘリング：84年へ》 Keith Haring: Into 84 ,1983

(右) 《アブソルート・ウォッカ》 Absolut Vodka,1989

資料



(左) 《扇子（ポップショップ東京）》 Fan (Pop Shop Tokyo) ,1988

(右) 《ポップショップ・トーキョーのスタッフのために特別に作られたスタジャン》
Varsity Jacket for Pop Shop Tokyo's staff ,1988



(左) 《ポップショップ東京のために作られた丼茶碗》, Bowl(Pop Shop Tokyo),1988
 (右) 《缶バッヂ (ポップショップ・トーキョー) 》 Pins from Pop Shop Tokyo ,1988

パトリシア・フィールド・アートコレクション



ポール・チェルスタッド、Paul Chelstad 《Untitled》,1986



(左) マーティン、Matine 《Untitled》
 (右) スザンヌ・マルーク、Suzanne Mallouk 《ORATOR - MALCOM X》,1984

その他コレクション



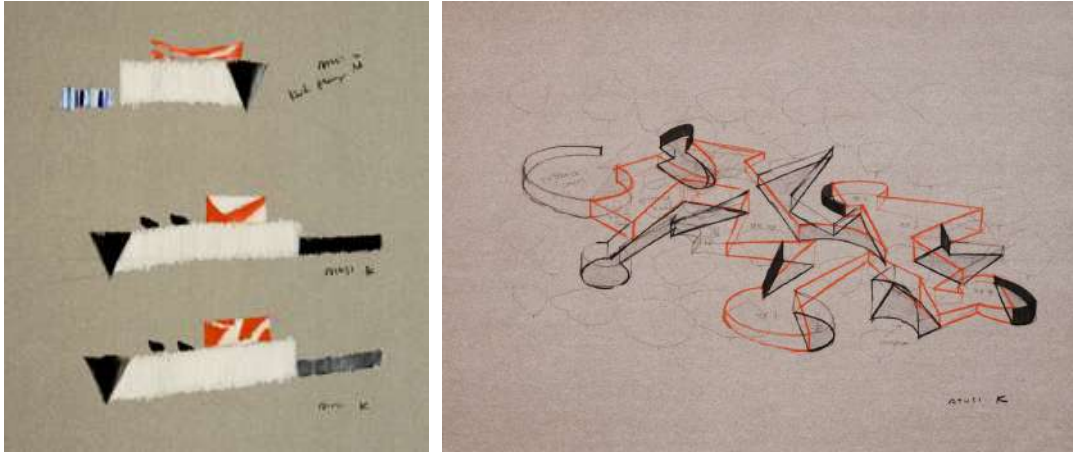
大山エンリコイサム、Enrico Isamu Oyama 《FFIGURATI#263》2019



大山エンリコイサム、Enrico Isamu Oyama 《FFIGURATI#264》2019

建築・展示室

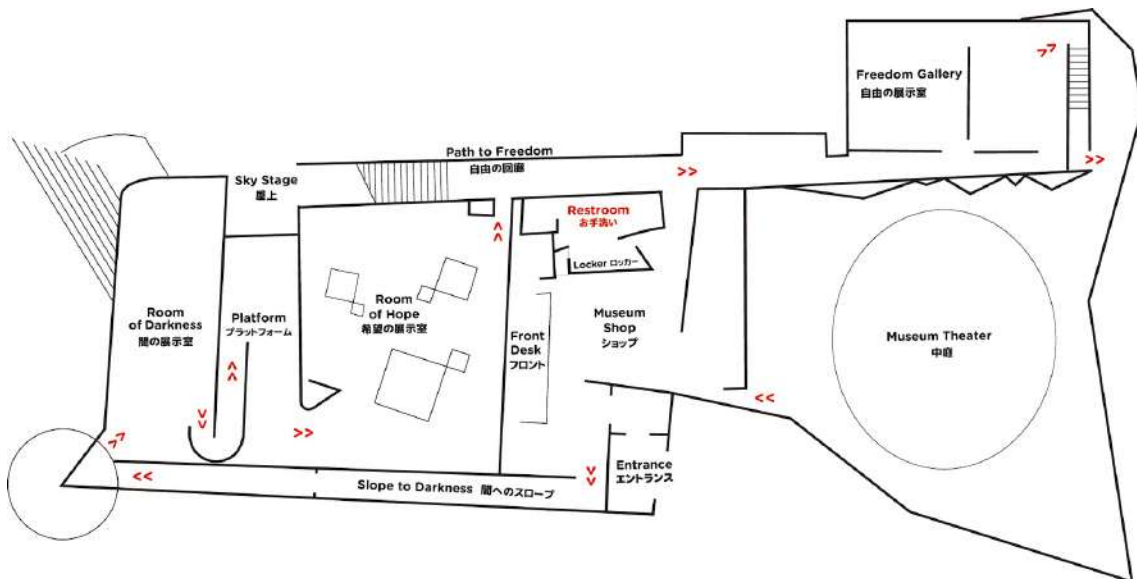
国際的に評価が高い建築家、北川原温により「闇から希望へ」というテーマで、80年代の混沌とした大都市ニューヨークで生まれたキース・ヘリングのアートが放つメッセージを体感できるよう設計されました。



北川原温による建築構想段階のドローイング

(左) 計画スタディ中のドローイング (右) 最終案のエレベーションのドローイング

自然のランドスケープを生かした傾斜のある特徴的な館内では、「闇の展示室」から「希望の展示室」へと鑑賞者が歩くことで空間体験を通じてヘリングの思考や人生、そして彼が駆け抜けた時代について想いをめぐらせ、作品の持つエネルギーを感じることができます。

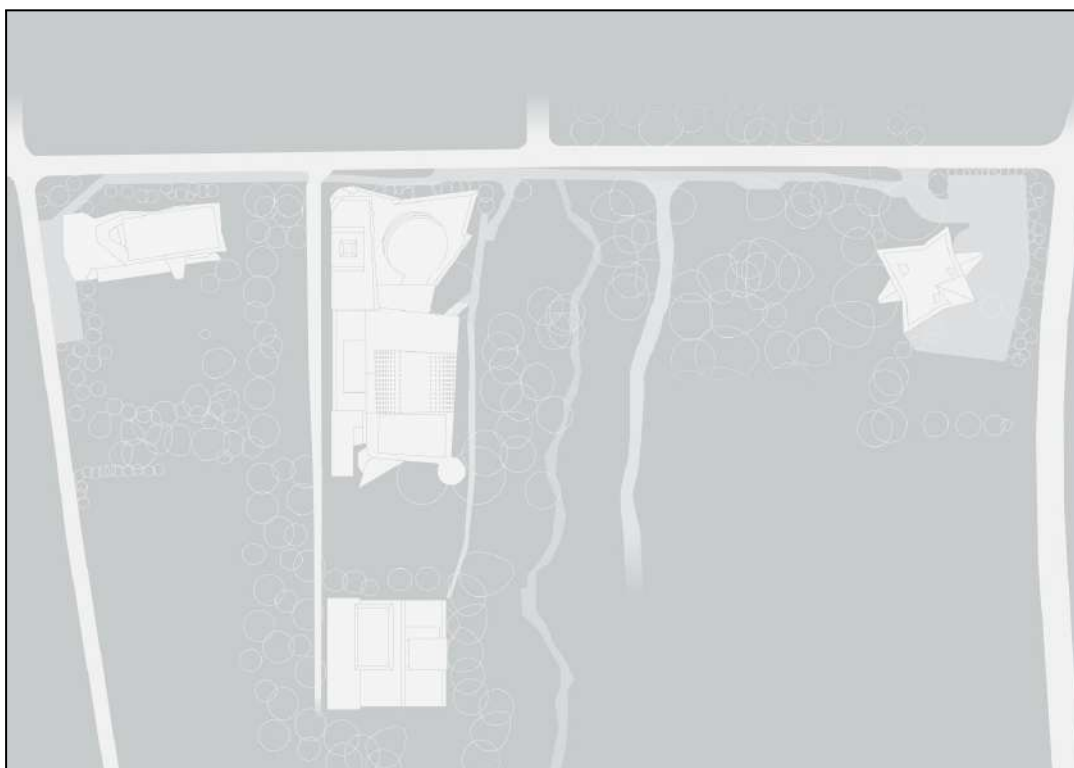


中村キース・ヘリング美術館フロアマップ

2015年春のリニューアルオープンでは、現代アーティストの展示など多彩な展示の開催を行うための「自由の展示室」、中庭を増築しました。



建築の構想には美術館周辺の自然環境を含めたランドスケープ全体が含まれており、美術館周辺の森の中には小淵沢の自然とともに北川原温の建築が並んでいます。



北川原 温 建築家

1951年長野県出身



詩や音楽をモチーフにした個性的な設計で知られている。公共・民間の多くのプロジェクトを手掛け、2015年ミラノ万博日本館（120カ国以上が参加、日本館が史上初の金賞受賞）の建築プロデューサーを務めた。グッドデザイン賞金賞を受賞した山梨県の工業団地エリアの都市計画とランドスケープデザインなど創作の領域は多岐に渡っている。

2019年3月まで母校の東京藝術大学で教鞭を執る。

日本建築学会賞、村野藤吾賞、日本建築大賞、米国建築家協会ジャパンデザイン賞、アルカシア建築賞ゴールドメダル、ケネス・F・ブラウン環太平洋建築文化大賞、イタリアIA賞金賞等を受賞。2010年には中村キース・ヘリング美術館の建築に対して日本藝術院賞を受賞。模型やドローイングなど27点がパリのポンピドーセンター（仏国立近代美術館）に収蔵されている。北川原温建築都市研究所主宰。東京藝術大学名誉教授。

ミュージアムショップについて

キース・ヘリングは、より多くの人々とアートを通じてコミュニケーションをとるために、1986年に自らのグッズを販売するポップショップをニューヨーク市のダウントウンに、そして2年後には東京にオープンしました。ヘリングのパフォーマンスの延長でもあるオリジナルグッズは彼のメッセージやコンセプトが込められた言わば作品とも呼べる存在です。

没後の今もなお、そのパワフルなメッセージはたくさんのコラボレーションによって世界中に伝え続けられています。中村キース・ヘリング美術館では1980年代にキース・ヘリング自身がデザインを手がけたものから、没後も絶えず発表され続けるコラボレーションまで、ヘリングの思いの込められたグッズを世界中から集め、来館されるたくさんの方々へお届けしています。

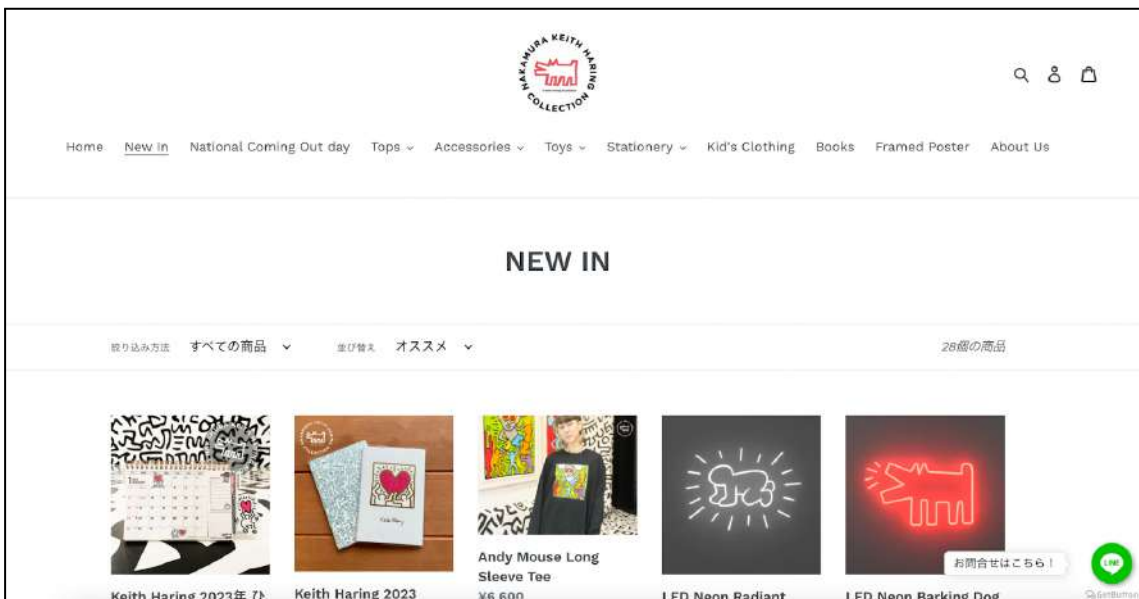
商品の販売だけでなく、ヘリングが「ポップショップ」によってアートを大衆へ広げたように、中村キース・ヘリング美術館はこのショップを通してLGBTQ+コミュニティ、HIV・エイズ、サステナビリティへのアドボカシーを行う場所として関連する数々の企業や団体の活動を紹介する情報提供のコーナーも併設しています。



美術館内だけでなく、オンラインや期間限定で日本全国に出張するポップアップショップも展開。ショップを通して全国各地で交流を行いながら、様々な地域の人々にヘリングの「作品」を紹介できる機会だと信じ、実践しています。

オンラインショップ

<https://nakamurakeithharingcollection.com/>



ポップアップショップ



表参道ヒルズ スペース・オーにて行われたポップアップショップ、2018
同会場ではキース・ヘリング生誕60周年記念 特別展
「Pop、Music & Streetキース・ヘリングが愛した街 表参道」も実施

教育普及・社会貢献活動

中村キース・ヘリング美術館は、キース・ヘリングの作品を展示するだけでなく、アーティスト、キース・ヘリングの作品と遺志を引き継ぎ、それを実現していく場所を目指しています。

現在の社会問題の提起をし続け、すべての人が表現の自由さを感じられるインクルーシブな新時代の美術館として、こどもたちへの教育活動、HIV・エイズに関する啓発活動などさまざまなメディアを通して発信、アクションをおこなっています。

中村キース・ヘリング美術館国際児童絵画コンクール

子どもたちには、未来への夢や希望を持つ自由があります。本コンクールは、未来を担う子どもたちに隔たりの無い自由な発想で絵を描いてほしいという願いのもと、2009年より開催され、毎年ヨーロッパ、アジア、アメリカなど世界各国から1,000点以上の応募がある国際的なコンクールです。

2023年、当コンクールは15回目の開催となります。子どもたちの発する地球温暖化、空気汚染下の人々の生活や動物たちとの共存などその深刻な「声」に動かされ、2022年から当コンクールは子どもたちとともに「環境（サステナビリティ）」を考えるコンクールへと転換いたしました。

2022年、これまでの活動が評価され当コンクールは「メセナアワード2022」で優秀賞を受賞しました。





第14回国際児童絵画コンクール授賞式の様子



公益社団法人企業メセナ協議会 メセナアワード2022 授賞式の様子

HIV・エイズ予防啓発活動

キース・ヘリング自身がエイズによる合併症で命を落とすまでHIV・エイズに対して啓発活動を行ってきたことを引き継ぎ、当館でも毎年12月1日の国際エイズデーをはじめとしてさまざまな機会に発信を行なっています。



(左) 東京エイズウィークに参加、2017 (右) 世界エイズデー小展示企画、2021

- 2007 開館初年度から啓発活動を開始
ラジオイベント「Tree of Love ポエトリー・リーディング Think about AIDS」に参加
- 2008 イベント「REAL - Living Together Club Campaign for 2008 World AIDS Day」首都圏クラブで
コンドームとHIV・エイズ情報冊子を無料配布
- 2009 「AIDS WALK小淵沢」初開催
- 2010 世界エイズデー特別企画「Art Against AIDS - エイズについてアートができること」
(共同企画：シミック株式会社)
- 2013 第1回カラフルラン「AIDS WALK小淵沢」
(共同企画：認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ)
「World AIDS Day Keith Haring Night」(六本木HEARTLAND、東京都)
- 2015 「キース・ヘリングと〈HIV/AIDS Art & Activism〉」展
- 2017 世界エイズデー特別展「キース・ヘリングとエイズ・アクティビズム」
- 2020 世界エイズデー企画：映画『パリ、夜は眠らない。』上映
- 2021 世界エイズデーに無料スペースで小企画展示

LGBTQ+に関する発信：SNS、イベントなど

LGBTQ+アクティビズムの記念日を中心に、にInstagram等での対談ライブ配信などアクティブな情報の発信を行なっており、さまざまな団体との交流、情報交換も行なっています。日本全国のイベントにも積極的に参加しています。



ナショナルカミングアウト・デー
NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会とのインスタグラムライブ、2022



ジョージーさんと「同性婚」について考えよう
MR GAY JAPAN運営代表市川穰嗣さんとのインスタグラムライブ、2021



東京レインボープライドへのサポートと参加、2018
コラムの執筆やキース・ヘリングの作品がキービジュアルに採用されるなど

公式Instagram : <https://www.instagram.com/nakamurakeithharingcollection/>

環境問題に関する発信

公式Youtubeチャンネルでは、「いまさらだけどSDGsって何？」というシリーズ番組を発信。キース・ヘリングが生きていたら必ず関心を持ったであろうSDGsトピックに関する入門としてミレニアル世代、Z世代向けに制作された。



公式Youtube : <https://www.youtube.com/channel/UCNAbu7HvPFQo8w11dDA7daA>

ごあいさつ

キース・ヘリングが活躍していた1980年代のアメリカは、日本の好景気とは裏腹に、インフレの激化と経済の混乱とともに治安が悪化し、まさに混沌とした社会でした。しかし反面ではアンディ・ウォーホルを筆頭にアメリカ現代美術が勢いを増していた時代でもありました。こうしたアメリカの「光と影」を背景にキース・ヘリングのアートは生まれました。ヘリングはストリート・アートから独特なビジュアルコミュニケーションを確立し、混沌とする社会へメッセージを投げかけたのです。

生涯を通して世界中で子どもたちとのワークショップや、壁画を含むパブリック・アート、ポスター・アート、そして社会的なプロジェクトにも力を注ぎました。当館でもエイズ・ウォークをはじめとするHIV・エイズ予防啓発のイベント、国際児童絵画コンクール、災害募金など、ヘリングの遺志を継承する活動を行っています。

2007年にここ八ヶ岳に設立した美術館は、大自然を融和し「混沌から希望へ」というテーマをもとに、日本の現代建築をリードする北川原温により設計されました。ヘリング作品の奥に潜む「人間が秘める狂気」や「生と死」に向き合うことのできる空間です。2015年には展示スペースが増設され、さらに大胆で鋭い感性の建築物となりました。あたかも「思考から離れて感性のみで生きる」という禅の思想をも包有するような空間で、キース・ヘリングの作品が今なお発する生命のエネルギーとメッセージを感じてくださることを願います。

中村キース・ヘリング美術館館長
中村和男

中村キース・ヘリング美術館館長 中村和男

1946 山梨県甲府市出身

1969 京都大学薬学部製薬化学科卒業、三共（現 第一三共）株式会社に入社新薬の開発に携わり、世界的に有名なブロックバスターメバロチン（高脂血症、家族性高コレステロール血症治療薬）の開発プロジェクトリーダーを務めた後、独立。

1992 シミック（現シミックホールディングス）株式会社代表取締役役に就任し、日本初のCRO（Contract Research Organization）を立ち上げ医薬品開発支援業務を開始、現在に至る。

2007 中村キース・ヘリング美術館設立。



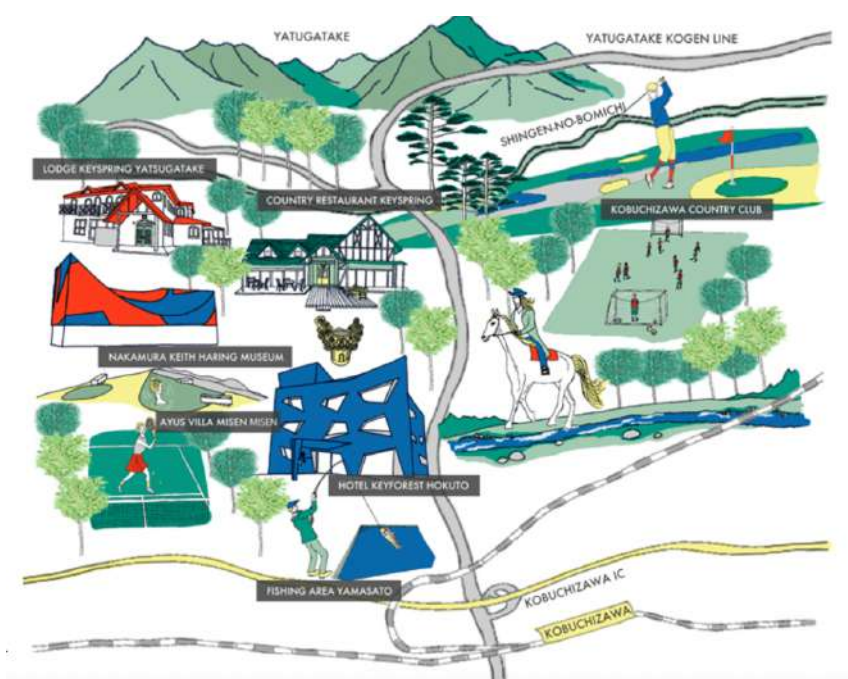
小淵沢アート&ウエルネスについて



山梨県小淵沢町位置し、中村キース・ヘリング美術館の属する複合リゾート小淵沢アート&ウエルネスは、くつろぎから、感性を刺激する体験まで。心を彩る芸術のリゾートです。

アートを中心に、雄大な自然の中でのリラクゼーションやスポーツ。そして魅力的なグルメなどを体験できるよう宿泊施設やゴルフ場、レストラン、乗馬場など多彩な施設をお楽しみいただけます。

アート&ウエルネスHP トップ：<https://www.kob-art.com/>



(左) ホテルキーフォレスト北杜 (右) AYUS VILLA MISEN



(左) 宿泊施設 ロッジ・アトリエ (右) レストランキースプリング



(左) 釣り堀 フィッシングエリアやま里 (右) ゴルフ場 小淵沢カントリークラブ